



医療法人 祥佑会 藤田胃腸科病院

藤田胃腸科病院たより

第3号

発行日：令和3年5月吉日

〒569-0086 大阪府高槻市松原町17-36

TEL：072-671-5916

(9:00~19:00 日・祝休診)

FAX：072-661-5188



ご挨拶

医師会の先生方には、新型コロナ禍のもと診療やワクチン接種などにご多忙なこととお察しいたします。また、常日頃から当院が大変お世話になり誠に有難うございます。

さてこの度、当院では手術室を新設して、本格的に食道、胃、大腸の病変に対して

理事長・院長 本郷仁志

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を施行する環境が整いました。担当はESDのエキスパートである京都府立医科大学消化器内科の土肥 統 学内講師と井上 健 助教です。

患者さんがおられましたら、ご紹介いただければ幸甚に存じます。



内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)のご紹介

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD:Endoscopic submucosal dissection)とは、高周波メスを使用して、粘膜下層レベルの病変を剥がし取る手技であり、主に消化管腫瘍の治療に用いられます。ESDの利点は、サイズの大きい腫瘍、潰瘍を伴う腫瘍、切除が難しい部位にある腫瘍を切除出来ることです。一方で従来の治療法と比べ技術の難易度が高く、出血や穿孔(穴があく)等の合併症の頻度が高いことに注意が必要で、十分な訓練と経験を積んだ医師が治療することが望めます。

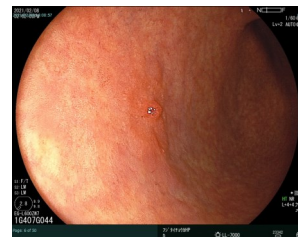
なお、従来から行われている内視鏡的粘膜切除術(EMR: endoscopic mucosal resection)は、病変の下に生理食塩水などを注入して持ち上げてからループ状のワイヤーをかけて、ワイヤーをしぼり高周波電流を流して病変を焼き切る方法です。

ESD手技を動画でご覧いただけます。5:01→
(土肥 統先生ご提供)

<https://youtu.be/5XPlzPPewyE>



①胃体下部前壁に早期胃がん病変を認める



②NBI拡大内視鏡で表面の微細構造を観察し、がんの性状を精査する



③切除範囲を決定してマーキングした後、ハサミ型ナイフで周辺から離断する



④切除した腫瘍組織片





入院医療のご紹介

当院は、一般病棟入院基本料（入院料1）の施設基準に適合した病院で、ベッド数33床です。
空床状況により当日入院のご相談もお受けします。

【 緩和医療 】

緩和医療が必要な患者さんには、入院にて対応させていただいております。また、当院に外来受診されたことがある患者さんについては、休日・夜間を問わず緊急入院にも対応させていただきます。

在宅療養における緊急時の「駆け込み病床（バックベッド）」としてお使いいただくことも可能です。その際は事前にカルテ作成が必要ですので、一度は受診をお願いしております。なお、ご本人様が来院困難である場合は、ご家族様のご来院でも対応させていただきます。

【 在宅調整のための入院 】

急なご病気やADL低下によって、在宅生活を続けるための環境調整が必要になった方には、一旦入院していただき体調を整えながら、その間に介護保険申請、認定調査、在宅での福祉サービスや在宅医療などの必要なサービスに繋いで、スムーズに在宅生活へ戻れるようにお手伝いいたします。

但し、当院はリハビリは提供できかねますので、リハビリを希望される方につきましては退院されてから、もしくは転院のご提案をいたします。

【 精査(検査)入院 】

通常の前検査入院、検査入院に加えて、前処置が必要な大腸カメラ検査などは、前日より入院していただき看護師が前処置のサポートをすることも可能です。

精査（検査）の施行にサポートが必要な患者さんには、臨機応変に対応させていただきますのでご相談ください。

【 レスパイト入院 】

在宅療養中の方のレスパイト入院にも対応いたします。入院期間はおおむね数日から2週間程でお願いをしています。

かかりつけ医、ケアプラン事業所（ケアマネージャー）、訪問看護ステーションを通じて入院申込みをお願いします。



テレビ、イヤホンは全病床に設置しています。
個室はバス・トイレ完備です。（写真は特別個室）



地域医療連携課・MSWは2人体制になりました

当院の医療ソーシャルワーカー（MSW：medical social worker）は社会福祉士・精神保健福祉士の資格を持って、患者さんやご家族を社会福祉の立場から支援いたします。具体的には、1）病院への入院並びに退院時の調整、2）在宅療養に向けた自

宅の生活環境や福祉用具などの整備、3）自宅療養が困難な患者さんには適切な施設の紹介、4）病院内外の関係者との調整・協力などです。ご遠慮なくお声をかけてください。宜しく申し上げます。

（富井宏美、永田依里）